



【直方市の 8 大事業】

直方市で予定されていた 8 つの
大型事業の進捗状況は以下の通りです。

①中学校完全給食の施設整備

中面の進捗状況をご覧ください。

②し尿処理場の建て替え

現在、昭和 33 年 4 月の新施設稼働開始に向けて、準備を進めています。国の認可を受けるための計画「循環型社会形成推進地域計画」を策定中の段階です。

③筑豊電鉄の延伸

「直方市まちなか公共交通活性化調査業務委託」を発注し、筑豊電鉄延伸事業の可能性を調査しています。

平成 26 年度の調査にて、将来需要予測を調査し一定の可能性が見込まれました。平成 27 年度では、延伸ルート、上部工・下部工等構造物の比較検討、概算事業費の算出や活用が可能な補助金や交付金について調査し、延伸事業化の可能性を判断するための調査を行っています。

④感田小野牟田・野添線の新設

現在、工事中です。平成 33 年 3 月末の工事完了予定です。

⑤直方中央公園の整備

現在、整備中です。平成 31 年 3 月末の工事完了予定です。

⑥中泉中央市営住宅・1 工区の建設

現在、工事中です。平成 29 年 3 月末の竣工予定です。

⑦小中一貫校の建設

財政的な課題もあり、現在、保留中です。

⑧保健福祉センターの建設

財政的な課題もあり、直方駅前での建築計画は、一旦、白紙撤回となりました。



会議録検索 システムのご案内

直方市議会の会議録をどなたでも
検索、閲覧する事ができます。



直方市議会・議場で交わされた発言の一言一句を
会議録としてご覧頂けます。

詳しくは で

やすなが^{ひろゆき}浩之 市議会議員事務所

〒822-0022 直方市古吉1丁目6番1号
tel.0949-28-8087 fax.0949-28-8020

で



直方市出身。地元のため
に全力疾走!

直方市議会議員
やすなが
浩之^{ひろゆき}

市政レポート

平成28年1月号Vol.2《政策進捗報告》

所属委員会と会派結成のお知らせ

『議会運営委員会』へ所属、副委員長就任

議会運営委員会に所属し、副委員長に就任させて頂きました。議会運営委員会とは、議会を円滑に運営していくために、定例会や臨時会の運営方針やその他議会に関することについて協議し、意見調整を行う場として設置されている委員会です。議会運営委員会・副委員長に選出頂いた期待に応えるべく、新人議員として若い感性を活かした議会運営に努めて参ります。

『教育民生委員会』へ所属

総務・教育民生・産業建設の3委員会からなる常任委員会では、教育民生委員会へ所属致しました。教育民生委員会は、市民部と教育委員会の所管に関する委員会、担当する事務の調査や、議案・請願・陳情などの審査を行います。福祉や子育てを始めとした事項をしっかり協議し、住みよい街作りの基盤を整備して参ります。

新会派『静燃会』を結成

「福祉・地域作り・子育て」といった政策の一致や「第一期目の議員・子育て世代の議員」として共通項の多い三根広次議員と新たな会派を結成しました。高齢者福祉・地域活性化・教育問題を中心に、共に日常的な取り組みや市当局との意見調整を行っています。

やすなが浩之の4つの政策

皆様にお約束したことについて 進捗状況を報告します！



福祉

《介護予防事業》

「介護予防事業」は、平成 28 年 3 月から「介護予防・日常生活支援総合事業」いわゆる「総合事業」へ移行することとなっております。総合事業は、高齢化が進んでいく中、要支援認定者等の高齢者の多様な生活支援ニーズに地域全体で応えるために、予防給付の通所介護、いわゆるデイサービス及びヘルパーによる家事援助などの訪問介護について、現在の全国一律基準のサービスから、今後は各市町村が、住民等の多様な主体によるサービス提供を効果的、効率的に実施するというものです。サービスの内容については、現行の通所介護、訪問介護に加え、住民主体による支援や配食サービス、見守りなど、多様なサービスの提供について、今後、関係各所と協議してつくっていくことになるとの報告を受けています。なお、総合事業へ移行するにあたり従来のサービス提供が困難になる可能性が高いとの内容の答弁が平成 26 年 3 月議会で行なわれましたが、国の総合事業に係る予算の上限についての考え方が変更され、平成 27 年 6 月議会において、当面、少なくとも 29 年度までの 3 年間は懸念されておりました財源不足によるサービスの減や抑制はないと申し上げてよいとの答弁がありました。今後も、皆さまからのご要望をお伺いし、市当局と協力しながら、直方市独自の高齢者・障がい者福祉の充実に取り組んで参ります。



教育

《中学校完全給食》

幾多の議論を経て、センター・弁当箱方式にて検討を重ねていた実施方式が、平成 27 年 9 月に開かれた議員への報告会にて、センター方式は保留、自校・親子・兄弟方式の 3 方式にて再検討を開始するといった報告がなされました。

また、平成 27 年 12 月議会にて一般質問を行った結果、上記 3 方式いずれにおいても今の直方市の財政状態では難しいという判断になり、民間の力を借りて選択制の給食を実施することの検討が開始されたとの答弁となりました。

詳細については未決定ですが、スケジュール的には平成 29 年 2 学期に間に合わせる事が可能だと答弁もあり、開始時期については 3 度目の正直が見込める状況となっております。皆さまが切望されている給食の実現を市当局へ訴えかけて参ります。

《小中一貫教育》

直方市では、小中職員の相互乗り入れ授業という形で小中一貫教育を行っており、専門性を生かした授業内容、中 1 ギャップへの対応等に取り組んでいる状況です。乗り入れ授業では、子どもたちが意欲的に学ぶ姿がみられ、中一ギャップの解消にもつながっていると報告を受けています。他の自治体に誇れる直方市独自の小中一貫教育体制構築を教育委員会へ要望継続して参ります。



地域づくり

《ふるさと納税》

父の代に市政へ訴えさせて頂いた施策が実現し、ふるさと納税の返礼品として、直方の名産品が届けられるようになりました。

- ・「博多屋菓子舗」の成金饅頭
- ・「からあげ&カレー焼き次元」のからあげ、カレー焼き詰め合わせ
- ・「手作りジェラート CHICHIYA」のジェラートセット
- ・「芙蓉醤油醸造元」のしょうゆ 6 本セット
- ・「もち吉」のふるさとセット
- ・「明治屋産業」のレンジステーキ
- ・「ひしや染物店」の成金クッション&手ぬぐいセット



などなど、直方で慣れ親しんだものが揃っています。どれも名品揃いです。今後さらに、夢と誇りの持てるまちづくりを進めていくために、皆さんの温かいご支援をお願いします。
※ふるさと納税とは、自治体への寄附金のことです。自分の選んだ自治体に寄附（ふるさと納税）を行った場合に、寄附額のうち 2,000 円を越える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除されます。（一定の上限はあります。）

詳しくは、インターネットにて「ふるさと納税 直方市」で検索頂くか、直方市役所・政策推進課・行政経営係（0949 - 25 - 2230）までお問い合わせ下さい。

防災

《消防団応援支援事業》

東日本大震災以降、様々な災害が頻発し、地域防災力の要として重要性が増してきている消防団に対する応援支援事業を直方市へ要望しております。

本市の消防団員数は、平成 27 年 6 月 30 日現在、246 人となっております。また、条例定数 285 人に対する充足率は 86.3%となっており、平成元年の 280 人、充足率 98%であったことから比べますと、現在では過去最低の人数となっている旨の報告が平成 27 年 6 月議会においてなされました。将来の消防団員確保に向けて、日本各地でさまざまな消防団応援支援事業がなされており、地域の事業所と協力し、消防団員証提示で購入金額の割引やドリンク 1 杯無料サービスなど、インターネットで検索するとさまざまな事業例を見ることができます。

市当局の答弁にもありましたが、地域に貢献する消防団員を地域ぐるみで応援し、顔の見える関係を築くことで地域防災力の強化を図るとともに、団員の士気を高め、新たな団員を確保する環境を整え、魅力ある消防団づくりを進めるため、賛同を得た地域の事業所、飲食店等による団員、その家族を対象にした特典や優遇措置を提供していただくことは、地域の活性につながると考えております。直方市消防本部及び消防団との協議、地域の事業所との意見調整を重ね、実現に向けて努力して参ります。

